

本校の課題発見・解決学習の実践例

～家庭科学習への取り組みの中で～

1 取組のテーマと取組理由

(1) テーマ

「家庭や地域に学び、生活をよりよくしようと工夫する児童の育成」
～ふり返りによる学習と生活との往還の充実を通して～

(2) 理由

来年度の令和3年度に、広島県家庭科研究大会の会場校として、授業を公開する予定である。

職員一人一人の家庭科学習に対する理解を深め、課題発見・解決学習の実践に取り組むことを通して、主体的、対話的な学習における児童の思考力および判断力の育成を目指している。

新学習指導要領の全面実施を受け、改訂されたり新設されたりした内容に焦点をあてて、実践を重ねた。

2 取組方法

校内研修や教育センターの課題解決サポートを利用し、授業実践を積み重ねた。

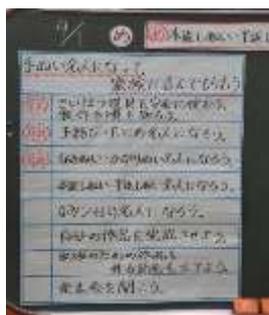
5年生においては3回、6年生は2回の授業を全職員で参観し、全体協議で成果と課題を全職員で共通理解を図った。

3 取組の概要

(1) 実践例1 5年生「一針に心をこめて ～手ぬい名人になって家族に喜んでもらおう～」

【児童の学習意欲を持続させる題材計画や導入の工

【確実に技能を身に着けさせる工



こんな作品を作りたい！
家族に喜んでもらおうぞ。

放課後のチャレンジ
タイムを使って、練習
したよ。



【家庭学習の実施と保護者との連



【学び合いのスキルアップを
目指

自分の工夫を伝えたら、
友だちから「いいね！」と
言われてうれしかった。

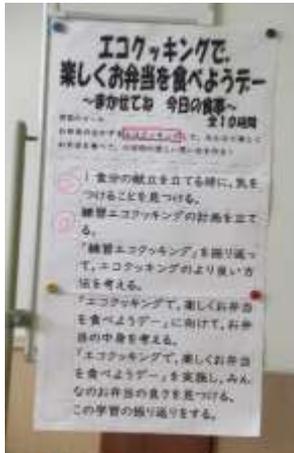


本返しぬいも半返しぬいも、得意になったよ。家族にも教えてあげたんだ。

(2) 実践例2 6年生「エコクッキングで楽しくお弁当を食べようデー ～まかせてね 今日の食事～」

【豊平中栄養教諭との連

【コロナ禍における題材計画の工



エコって何だろう？
お弁当づくり楽しみだ。

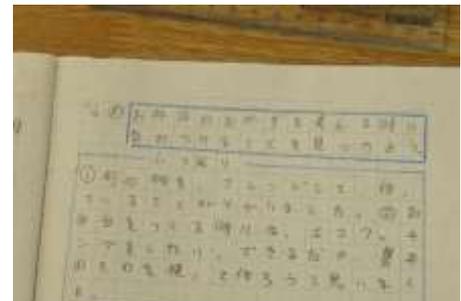


いろいろなことを考えて、
献立をたてるんだな。

【振り返りの充実】



旬の食材を使う
ことがエコに
つながるんだな。



(3) 実践例3

5年生「持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方～買い物トラブルに合わないかしこい消費者になろう～」

この題材では、新学習指導要領で新設された「買物の仕組みや消費者の役割」に関する内容を扱った。

自立した消費者になるための学習内容として、まず、売買契約の基礎をしっかりと理解するために、契約が成立する場面についての学習を深めた。環境に配慮した生活の仕方についても考え、「かしこい消費者宣言」を書いて、友だちだけでなく保護者にも発信した。

4 成果と課題

【成果】

○家庭科における課題発見・解決学習を進めていくために、一つ一つの題材のストーリーをどのように組み立てていくかという視点を全職員が持つことができた。

○家庭科は、学習したことを家庭ですぐに実践できるため、学習内容を家庭学習に取り入れ、保護者との連携を密にすることで、児童一人一人の理解や技能が定着した。

○視点を明確にした「学び合い」や「振り返り」を通して、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞き、考えを

深めたり広げたりしようとする児童が増えた。

【課題】

● 題材計画を立てる際には、児童の主体的な学びが持続することを考えるだけでなく、学習指導要領にある指導しなければならない項目を網羅しているかも考えるべきである。

● 「学び合い」のスキルアップが必要である。児童同士の対話スキルの上達を促すような工夫を考えたい。

● カリキュラム・マネジメントの視点で題材計画を考えたい。他の教科との関わりの中で、学び合いも深まり、

児童の理解も深まるであろう。